

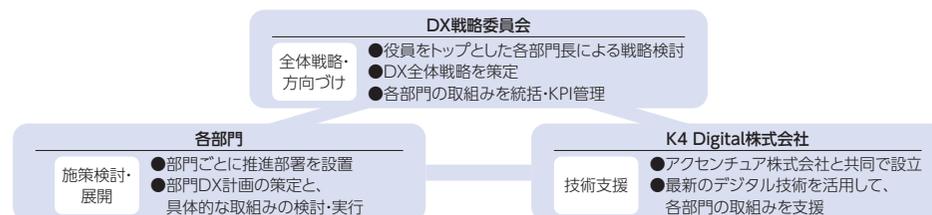
DX戦略 **BX**

当社グループは、中期経営計画に掲げる三つの取組みの柱(EX・VX・BX)の実現に向け、デジタルを「変革のドライバー」と位置づけています。特にAIは凄まじい速さで進化しており、2030年頃には破壊的なイノベーションである「AI産業革命」が到来すると想定しています。こうした未来を見据え、AI産業革命後の「DXビジョン」および、ビジョンに至る道のりを「DXロードマップ」として策定しています。また、全社戦略であるDXロードマップを部門ごとの施策に具体的に落とし込むかたちで「部門DX計画」を策定しました。さらにその推進のために、DXを加速する基盤として「データマネジメント」、「DX風土の醸成」、「DX人財の育成」の整備を進めています。

詳細は関西電力グループのDX取組みをご覧ください [WEB](#)

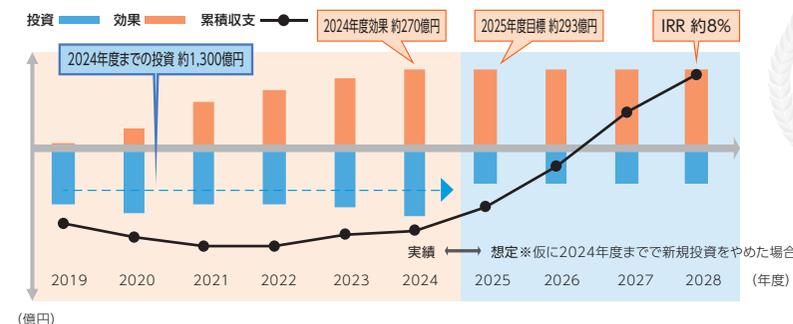


DXの推進にあたっては役員をトップとした全体戦略の検討や方向づけをおこなう「DX戦略委員会」、施策の検討や展開をおこなう「各部門」、DXの専門家として施策実施に必要な技術支援をおこなう「K4 Digital株式会社」が三位一体となって検討を進めています。2025年6月にはOpenAI社と生成AI活用を通じたDX推進を目的とした戦略的な連携を開始しました。連携開始に伴い、K4 Digital社内に専門家のチームとしてOpenAI CoE (Center of Excellence)を設置し、この体制を活用して生成AI活用事例の創出・展開に取り組んでいます。



DXの推進状況

2018～2024年度に、610件のPoC(概念実証)を実施し、そのうち473件を実用化しています。また、2019～2024年度で年平均200億円以上のDX投資を実施しており、2024年度現在のDX効果は約270億円/年と順調に成果を上げており、IRRは約8%の見込みです。また、当社の生成AIを活用したDX推進の取組みが評価され、IDC Future Enterprise Awards 2025において、「Best in Artificial and Generative Intelligence」の国内受賞企業として選定されました。



DXの具体事例

■AIによる分散型エネルギーリソース最適運用サービス (K-VIPs+)

当社グループのE-Flow合同会社ではAI搭載の分散型サービスプラットフォーム「K-VIPs+」を構築し、電力の需給を調整する複数のエネルギー市場の価格変動をモニタリングしつつ、エネルギーリソースの運用計画を策定し、系統用蓄電池を効果的に運用することで手作業による運用よりも高精度・高効率な運用を実現しています。

具体的には、AIが最も収益が期待できる市場の組み合わせを計算し、自動で入札配分を提案するとともに、平日・休日問わず30分周期での自動取引をおこなっています。AIはVPPの運用実績から収集されたデータに今後の様々な市況変動を織り込んで生成した約5,000万レコードのデータを基に、累計1,000回におよぶシミュレーションを繰り返し、性能を改善してきました。脱炭素化の潮流の中、再生可能エネルギーリソースの有効活用を促進し、CO₂排出の削減につなげています。

DX戦略 **BX**

DXの具体事例

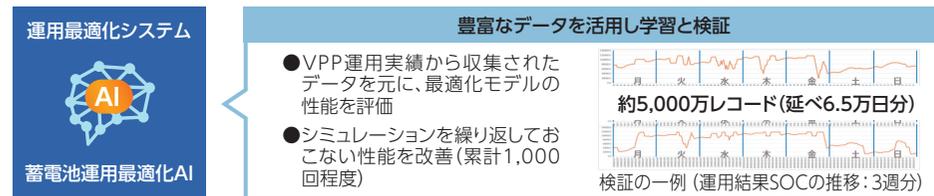
■営業活動の高度化・効率化

ソリューション本部では、営業ノウハウや提案資料等を学習させた生成AIを活用することで、誰もが効率的かつ高度な提案活動の実践が可能となる新たな営業スタイルへの変革に向けた運用を開始しています。

この営業スタイルでは、リード創出や商談活動等の各シーンにおいて生成AIがお客さまの課題やニーズに応じた的確なアプローチ案を提示すること等をめざしており、営業力の底上げ・提案品質の向上を図ります。さらに、実務における活用を見据えた生成AIプロンプトの整備や勉強会の開催等、生成AIの利活用推進と定着化に向けた取組みも進行中です。

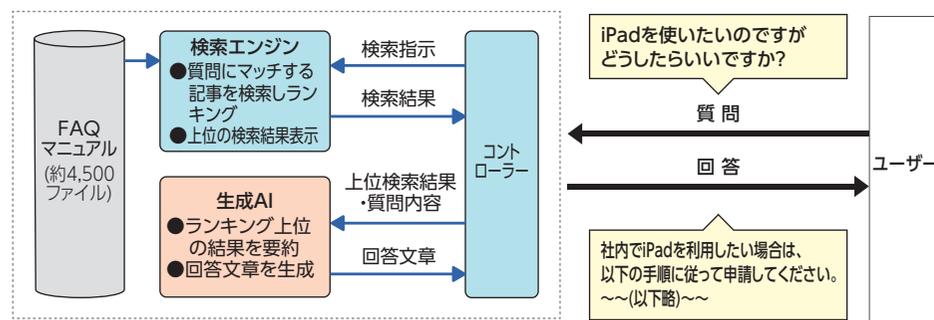


2024年度(第42回)
IT賞受賞



■AIによるヘルプデスク業務の自動応答

IT戦略室では、ITツール・システムに関する不具合や操作方法、問合せ対応を一元的に情報提供する「ITサポートサイト」のチャットボットと検索機能に、生成AIを適用しています。正答率80%以上、適切な応答時間で運用負荷も低く、効率的・効果的な社内ヘルプデスク業務を実現しています。取組みによって得られた成果・ノウハウを活用し、管理間接部門(経理・調達・人事労務等)への横展開を進めています。



データマネジメント

各部門が効率的にデータ利活用サイクルを回せるよう、データ利活用基盤の整備を実施し、データマネジメントの取組みを推進しています。取組みの1つとして、DXを加速するためのデータ管理プロセス・ルールであるデータマネジメント通達を策定しています。通達に則り、ニーズ・シーズ起点でデータを収集・蓄積し、利活用者のレイヤーに合わせた加工・提供をおこなっています。



2025年データマネジメント賞 大賞受賞

DX人材の育成

当社グループでは、人財戦略として、関電グループアカデミーと連携し、DX推進を担う人財育成にも注力しています。育成対象者を高度DX人材/各部門のDX推進者/全社員の3つに分類し、対象者に基づいた育成施策を展開しています。2025年度からは高度DX人材による生成AIの内製化や部門DX推進者へのさらなる研修の充実等により、幅広い知識・スキルの獲得を推進予定です。



DX風土の醸成

当社グループでは、年に1回、全社的なイベント「KANDEN Digital Day」を開催しています。2025年度はオンライン・会場のハイブリッド開催により約1,100名が参加しました。プログラムとしては、社外DX先進企業による基調講演、生成AIプロンプトカップ(競技会)、DX取組事例の紹介(プレゼン発表・展示デモ)、DX推進キーパーソン『DXな人たち』の表彰を実施し、DX推進の意識醸成をおこなっています。

